



[表紙デザイン] 加藤由佳さん『未来のかたち』



第23回 Society of Human Well-Being 2023

人間福祉学会

子どものWell-beingを考える — 支援者支援を通して —

2023年

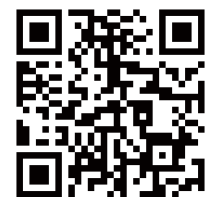
12月10日 日

中部学院大学 各務原キャンパス

岐阜県各務原市那加郷田町 30-1 TEL 058-375-3600

参加費 無料

対面・オンライン併用開催



基調講演・シンポジウム
申し込みはこちらから

[大会長] 宮嶋 淳 (中部学院大学 教授)

[主催] 人間福祉学会 [共催] 中部学院大学・中部学院大学短期大学部

後援：岐阜県/岐阜県教育委員会/関市/関市教育委員会/各務原市/各務原市教育委員会/社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会/社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会/社会福祉法人関市社会福祉協議会/社会福祉法人各務原市社会福祉協議会/一般社団法人岐阜県社会福祉士会/公益社団法人岐阜県理学療法士会/一般社団法人岐阜県作業療法士会/一般社団法人岐阜県介護福祉士会/公益社団法人岐阜県看護協会/一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会/岐阜大学/日本子ども家庭福祉学会 (順不同)



第23回 Society of Human Well-Being 2023

人間福祉学会

子どものWell-beingを考える – 支援者支援を通して –

2023年は、わが国のこどもの幸せづくり政策の飛躍的前進が叶えられた一年になりました。

同年4月1日に施行されたこども基本法は、日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指しています。また、社会全体がこども施策に取り組み、こども施策を総合的に推進することを目的とする子ども家庭庁が設置され、丁寧でわかりやすい「こどもまんなか」施策の全体像を、当事者である子どもにわかるよう説明しようとしています。

「こどもの未来」や「子どものWell-being」の姿がおぼろげながら見えはじめた2023年12月、私たちは「胎生期から青年期まで」途切れることのない、こどものサポートや支援を行ってきた先駆的实践者や研究者、当事者の方々と共に、グローバルな水準からみても誰もが納得できる「こどもまんなか」を実現するために、「不足・欠落・看過されていることは何か」を考えます。そして、それらを充足していくために、2024年以降、私たちが何をなすべきかを皆様と共に考えたいと存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

[プログラム] **2023年12月10日** [日]

9:30 - 12:00 研究・実践発表

12:20 - 12:45 総 会

13:00 開 会

13:05 - 14:15 基調講演

藤岡 孝志 氏 子どものWell-beingと支援者支援

14:15 - 16:50 シンポジウム

テーマ 子どものWell-beingを高めるアクションへの視点

シンポジスト 石塚 幸子 氏 (ドナーリンク・ジャパン 理事)

シンポジスト 小澤 いぶき 氏 (認定 NPO 法人 PIECES 代表)

シンポジスト 幸重 忠孝 氏 (NPO 法人こどもソーシャルワークセンター理事長)

シンポジスト 伊藤 嘉余子 氏 (大阪公立大学 教授)

シンポジスト 山瀬 麻里絵 氏 (NPO 法人松山さかのうえ日本語学校 代表)

コーディネーター 林 美里 氏 (中部学院大学 准教授)

コメンテーター 藤岡 孝志 氏 (中部学院大学 教授)

16:50 - 大会宣言

16:55 - 次期大会長挨拶

17:00 - 閉 会

【オンライン参加に関すること】

- ・大会に参加するために必要な情報は、申込時にご登録いただいたメールアドレスにご連絡いたします(2023年12月5日(火) 配信予定)。
- ・ドメイン指定受信を設定されている場合は、@chubu-gu.ac.jpから配信されるメールを受信できるように設定ください。
- ・視聴される環境によって、インターネット通信料が発生する場合がございます。
- ・大会の録音・録画・撮影などをご遠慮ください。
- ・お申し込みの際にご登録頂いた情報は、本大会への参加登録の目的にのみ使用いたします。



[基調講演 講師]

中部学院大学 教授
同大学院人間福祉学研究科 研究科長
日本社会事業大学 名誉教授

藤岡 孝志 氏

経歴:九州大学教育学部卒業、九州大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得後満期退学、博士(人間学)

専攻:子ども家庭福祉学・支援者支援学

主な著書:『支援者支援養育論—子育て支援臨床の再構築—』

(ミネルヴァ書房, 2020)、『これからの子ども家庭ソーシャルワ

ーカー—スペシャリスト養成の実践—』(ミネルヴァ書房, 2010)

(監修、日本社会事業大学児童ソーシャルワーク課程編)『愛着

臨床と子ども虐待』(ミネルヴァ書房, 2008)、『不登校臨床の

心理学』(誠信書房, 2005) 他

その他: 現在、日本子ども家庭福祉学会理事。2022年度まで、日

本社会事業大学児童ソーシャルワーク課程主任として、20年以

上にわたって、子ども家庭ソーシャルワーカーの養成に関わる。

また、これまで東京都児童福祉審議会委員、葛飾区児童相談所

設立検討委員会委員等複数の区立児童相談所設立委員会委員

を歴任。臨床フィールドとして、児童養護施設、母子生活支援施

設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、障害児通園施設、障

害者通園施設、児童相談所、子ども家庭支援センター等のスー

パーヴァイザーを歴任。国際的な活動として、アジア太平洋ソ

ーシャルワーク教育連盟(APASWE) 理事、アメリカ・Tulane

University 招聘研究員などを歴任。

[お問い合わせ・お申し込み]



人間福祉学会事務局

(中部学院大学 教育研究支援課内)

〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2-1

[FAX] 0575-29-3000

[TEL] 0575-24-2238 [E-mail] hwsoffice@chubu-gu.ac.jp